

重症心不全治療部

1. スタッフ（2024年4月1日現在）

部長（学内教授）（兼）	相澤 啓
医員（教授）（兼）	川人 宏次
医員（教授）（兼）	新保 昌久
医員（教授）（兼）	今井 靖
医員（教授）（兼）	塩田 勝利
医員（准教授）（兼）	荒川 衛
医員（特命准教授）（兼）	原田 顕治
医員（講師）（兼）	小森 孝洋
医員（講師）（兼）	村岡 新
医員（助教）（兼）	阿久津博之
医員（臨床助教）（兼）	堀越 峻平
看護師長（兼）	太田 信子
看護師長（兼）	田邊由美子
主任看護師（兼）	前沢 幸代
主任看護師（兼）	笹井 香織
主任看護師（兼）	飯塚 由佳
看護師（兼）	野口 康子
主任臨床工学技士（兼）	繁在家 亮
臨床工学技士（兼）	鳥越 祐子
臨床工学技士（兼）	関野 敬太
主任管理栄養士（兼）	川畑 奈緒
理学療法士	中川 康宏
薬剤師（兼）	海老沼慶一
薬剤師（兼）	高倉 祐希
臨床心理士（兼）	山本 理栄
患者サポートセンター医療福祉相談室	MSW（兼） 角田 圭佑

2. 重症心不全治療部の特徴

●認定施設

認定植込型補助人工心臓実施施設

Impella補助循環用ポンプカテーテル実施施設

●認定医

植込型補助人工心臓実施医：川人 宏次

植込型補助人工心臓実施医：相澤 啓

3. 診療実績

3-1) 重症心不全症例に対する治療

2023年は重症心不全症例に対しIMPELLA-CPを18例、IMPELLA-5.5を4例に使用した。特に2023年は手術死亡率20-30%と言われる急性心筋梗塞後の心室中隔破裂（VSP）4例に対してECPELLA（IMPELLA+ECMO）での管理を行い、全身状態を改善させたのちにVSP閉鎖を行い全例救命するなど、IMPELLAの適応を

拡大し、さらなる患者救命率向上に努めている。

また3例の開心術後重症心不全症例に対してcentral-ECMO+LV（LA）drainageを使用し開心術後の重症心不全症例に対する治療も積極的に行っている。

3-2) 日本臓器移植ネットワーク移植希望者登録

2015年以降移植登録をされた症例のうち5名が心臓移植に到達しています。

3-3) 体内植え込み型補助人工心臓患者外来管理：2名

4. 2024年の目標・事業計画等

近年の重症心不全治療は急速に進歩しており、救命率も向上してきている。今後も重症心不全症例に対する薬物療法、機械的補助など治療選択を広げ、当院の心不全治療をより高度なものに発展させたいと考えている。